

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 高坂駅前教室

保護者等数(児童数) 30 回収数 14 割合 46 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	5	3	1	・勉強に集中できる環境がない ・日によって利用児童が多く、スペースが狭くなっていると思う ・子どもの様子をよく見てくださっている ・少ないと子どもが言っている ・子どもに聞かないと配置人数が分からない	・相談室などの空いている個室スペースを活用しながら個別の活動を充実させていく。 ・外での活動なども取り入れながら、児童がストレスを感じないように工夫を行っていく
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	3	1	1		職員の入替わりが多かった為保護者様への都度の共有というのが難しかったが、今後は教室内のバリアフリー設備は最小限にとどめているので、児童の状況に合わせて適切な人的配慮を行っていく。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	4	0	1	・大丈夫だと思う ・段差がないのでつまづきの心配がない	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13	0	0	1	・よく見て頂いています ・スズなく話し合いができたと感じている	今後できるだけ保護者様のニーズやお悩み事をしっかりとアラインしつつ、支援計画はもちろん支援内容にも落とし込んでいく。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	1	0	2	・どうしても固定化してしまう部分がある ・毎回違う事をやってみて楽しんでいる様子です。	できるだけプログラムを固定化しないように、職員間でのアイデア出しを活性化させ様々なプログラムを準備していく。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	3	6	・ない ・話は聞いた事がないので、あっても良いと思う ・利用しづらいのではないかと感じる	放課後児童クラブや児童館などの繋がりや関係性構築に今後動めていく。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1	0	0	・しっかりと説明を受けている ・月に罹る負担がいまいち具体的に分からない点がある	おやつ代や備品代などは月ごとに変動していくので、都度保護者様にご納得いただく為の説明を行うよう努める。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	1	0	0	・一時的にいた先生は子どもの発達について理解できていないと感じた ・毎回報告を頂いている、状況に応じてお話ができている	新入職員が多い時期などは個々の児童の発達状況をすぐに理解する事は難しいと感じるが、少しずつでも全員の職員が一定レベルの理解度を持ち保護者様と対峙できるように職員教育を進める
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	2	0	0	・大丈夫です	保護者会や個人面談等を定期的に開催し、保護者様のお悩みやお困りごとに対して助言などを行っている。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	3	1	1	・子どもが自宅にいる日曜日で出席が難しい。 ・あまり出席していないが、考えてくれていると思う	できるだけ働いている保護者様も参加できるよう日程調整を工夫する。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1	0	3	大丈夫です	保護者様からのクレーム対応等は統一しており、できるだけ速やかに事態の把握と解決、ご理解が頂けるよう迅速に対応するよう努めている。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	0	0	0	大丈夫です	送迎時や児童の引き渡しの際には必ず当日の様子について保護者様に共有するようにしている。送迎時での話が難しい場合は電話やタブレットなどを活用し伝達
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	2	0	1	・少ない ・大丈夫です	これまで公にHPなどの掲載情報や自己評価アンケートを保護者様宛に発信してこなかったため、会報などのツールを活用し自己評価の結果開示についての情報共有を行っていく。
14 個人情報に十分注意しているか	12	0	0	2	大丈夫です	不要な個人情報等はシュレッダーにて破棄するようにしている。 パソコンにはウイルスなどの漏洩リスクを抑え	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	4	0	2	・大丈夫です ・マニュアルがある説明は受けているが、内容については詳細を聞いていない気がする	・マニュアル等については契約時に一通り説明を行っているが、時間などの関係で最低限度に留めている為、適宜必要に応じて詳細な説明を心がけていく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	2	0	3	大丈夫です	定期的に避難訓練等を実施し、様子については会報にて保護者様に共有している。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	12	2	0	0	ここ最近は特に楽しく通所している	児童が帰宅時に「楽しかった」と思ってもらえるようなプログラムや支援の構築を今後も継続
	18 事業所の支援に満足しているか	13	0	1	0	・コロナ以降外出が少なくなり、不満がある ・ありがたいくらい満足している	外出を伴う活動も適宜取り入れつつ、引き続き児童は勿論保護者様にも満足頂けるよう支援の内容や質の向上に努めていく。

184 34 9 24

73%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 高坂駅前教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	3	外遊びや児発の児童が返った後の教室などを活用し、グループ分けを行い運動等の活動を行っている。	・狭く感じる時がある。 ・活動内容や職員、児童の数によってはスペースが足りない時がある
	2 職員の配置数は適切である	4	2	シフト作成時などできる限り児童の特性に合わせて人数を調整するようにしている。	・送迎時や休憩時、また日によって児童数に対し多い少ないの差が激しい。 ・利用人数に対し、職員の数が合っていない
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0		現状重症や医療的ケアのお子様を受け入れていない為、バリアフリー設備は最低限度のものとなっている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	受入れ前に打合せを行い、目標の確認、支援の流れ等の確認を行っている。	支援の目標が個別支援計画よりもさらに細かく体系化されるべきであるが、そこまで細分化できていないので、今後は細かく児童の目標などを設定し、広く職員がどの児童にもきちんとした支援目標のもと支援ができるよう努める。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	保護者アンケートを集計し、全体会議などで特に意見が多かった項目をピックアップし、改善策を話合っている。	一部改善まで持っていけていない事もあるので、今後は一つでも多く改善できるよう話し合いと都度の進捗確認を行っている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	HPより公開している。	保護者や職員に広く共有されているとは言えないため、今後は会議や保護者向けの会報などを通して公開している旨の情報を全面的に共有していく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		コロナ禍の影響のため行えていない。(第三者設置委員会の設置ができていない)
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2	県主催の研修会や民間の資格講座等ができるだけ職員の目のつきやすい場所に掲示している。	職員等の配置上難しい部分がある。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		保護者様のニーズはもちろんの事、児童本人の状況にも合わせながら計画作成に努めている。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	2		既存のツールがそこまで実用的なツールではないので、今後はよりお子様の状況を把握できるアセスメントツールを作成もしくは導入し、効率化を図る。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	曜日やその日の利用児童を考えながら、プログラム内容の話合いをしている。	夏休みの間のプログラムの案を職員同士で出し合う機会を設けるなどしている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0		イベントなどを組み込んだり、外遊びなどの活動を組み込む事で、できる限り固定化しないような工夫を話し合いながら出している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	平日と休日、長期休暇で利用児童が変わってくる為、注意点や流れを確認している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		個々の児童の発達状況や特性などを把握した上で個別活動ではそれぞれのレベルに合った活動を行い、集団時は特性や発達の度合いでグループ分けをし、それぞれ活動を分けて行うなどしている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	お子様の特性や相性を考慮し、できるだけ円滑に支援プログラムが進行できるよう配置なども工夫している。	受入れ前に打合せを行っている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	パート・アルバイトさんになるべく共有できるように翌日や出勤日等に疑問点などをでして共有と話し合いを行っている。	・送迎によって帰りが遅くなる時など日によってできない事がある。 ・時間やタイミングが合わず、次の出勤や別日に支援職の打合せや振り返りになって、日々の様子を連絡帳とPC上に記録しており、いつでもそれを見返して支援の振り返りや検証・改善ができる体制を整えている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0		
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0		定期的なモニタリングは勿論、都度お子様の困った行動や保護者様のお悩みに応じて計画や支援内容を変更するなど柔軟な対応を心がけている。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	0		放課後等デイサービスのガイドラインについての主旨は社員には把握するよう啓蒙し、活動に組み込むようにしている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		原則担当者会議は児童発達支援管理責任者が参加し、児童の状況を適宜共有している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0		学校などのお迎え時に担任の先生や加配の先生などから当日の児童の様子について必ずヒアリングするよう徹底している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2		現状医療的ケア児を受け入れていない/予定がないが、現状受入れている児童の主治医の情報収集や連絡対応方法の構築はおこなっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0		保育園や幼稚園とは常に連携を行っており、双方円滑に支援や保育できる体制を取っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1		PC上に日々の支援の状況やお子様の様子を個々に記録しており、進級・進学に伴い記録を提供できる体制をとっている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	3		・自身は研修できていない。 ・職員の配置や児童数の関係でなかなか研修の機会を作る事ができていなかったが、今後はできるだけ研修の機会を創出できるように職員の配置調整や児童数の調整をこまめに
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4		・平日、休日共に利用児童の数が多いためできていないが、利用児童や職員がそろっている場合はできるかもしれない。 ・今後予定している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	3		職員配置等の関係で協議会等の参加はできていない。 今後はできるだけ参加を促し、地域との更なる情報連携ができるよう努めていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	送迎はできるだけ当日児童を対応した職員が行うようにしている。	連絡帳は勿論、送迎時に保護者様と対面で利用時のお子様の様子について詳細を共有できるよう努めている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	保護者会や個人面談の機会などで、保護者様に対してのアドバイスなどを行っている。	ペアレント・トレーニングの知識を有する人材をなかなか輩出できていなかったが、今後研修などを通じて知識と実践を重ねて利用保護者へ提供できる体制を構築して
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0		契約時等に保護者様にはできるだけ分かりやすく教室運営に関わる説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	各児童の様子を他職員と共有、話し合いを行った上で保護者様にお伝えしている。	定期的な個別相談会を実施し、保護者様の日ごろのお子様に関するお悩みや困りごと、進路・進級に関する事をお話できる場を提供し、必要な助言や支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	0	保護者の親睦を深める、情報共有を目的としてサロン(=父母の会)の開催を行っている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0		保護者様からのクレーム対応等は管理者が対応するよう統一しており、できるだけ速やかに解決・ご理解頂けるよう迅速に対応するよう努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0		保護者向けの会報を毎月発行し、情報提供を行っている。それと合わせる形で毎月のプログラムや行事予定を組み、共有するよう努めている。
	35	個人情報に十分注意している	6	0		業務上不要になった個人情報については必ずシュレッターを用いて消去し、PC等の記録も不要になったものは即時削除する仕組みとして送迎時に保護者様と対面で情報共有をしたり、公式LINEなどのツールを使って情報伝達を心がけている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		個人情報や保護者様のプライバシーの観点からなかなか地域ぐるみでの支援やイベントを行うことが難しいが、現在は保護者様の環
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3		コロナウイルスのような感染症に対する対応マニュアルや災害などの緊急時におけるマニュアルは用意しているが、保護者様を含め徹底周知できているわけではないので、詳細を詰めあがった後に周知を行う
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	0		定期的に避難訓練等を行っており、様子についても保護者様に会報を通じて共有している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0		虐待防止委員会を通じて身体拘束や虐待についての理解を深める研修を毎月行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0		虐待防止委員会を通じて身体拘束や虐待についての理解を深める研修を毎月行っているが、組織として身体拘束についての方針決定や計画書への落とし込みまで至っていない。今後は研修や会議を通じて方針決定と保護者理解に繋げる。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	おやつ作り等の活動に参加する児童には体験のみやおやつ持参を促すなどに対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	PCのクラウドなどを通じ、日々のヒヤリハットの収集と事故報告を必ず上げてもらい、毎日の夕礼で共有を行っている。	上がってくるヒヤリハットの数が少ないため、より多く収集して事故防止につなげる。